

# 平成26年度 決算報告

## 平成26年度決算の概要について

平成26年度の決算の概要は次のとおりです。

- ①補助金収入の帰属収入における割合は前年度から増加し、9.9%となりました（前年度：9.3%）。
- ②寄付金は、企業等からの研究助成金である奨学寄附金が、受入件数、受入金額ともに前年度から減少したため、前年度比15%の減収となりました。
- ③医療収入は、産業医科大学病院では患者数が増加したものの診療単価の落ち込み等により前年度比2.7%の減収となり、若松病院では外来患者数の増および診療単価の増により2.4%の増収となりました。一方、両病院とも今後の増収に向けて施設改修等体制整備を行ったことから人件費、医療経費、教育研究経費の支出が増加しましたが、病院全体では2億2,000万円の消費収入超過となりました。
- ④消費収入の部の合計から消費支出の部の合計を引いた結果、当年度は5億円の収入超過となり、これに前年度の繰越消費支出超過額56億円を加えた51億円が翌年度繰越支出超過額となりました。この支出超過額は、\*退職手当引当金および\*\*減価償却累計額で計上している必要額のうち、一部しか計上できていないことが要因となっています。

## 収支計算書類

### 1. 消費収支計算書

### 消費収支計算書

平成26年4月 1日から  
平成27年3月31日まで

（単位：百万円）

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成26年度	平成25年度	備 考	科 目	平成26年度	平成25年度	備 考
学生生徒納付金	3,670	3,548	入学金、授業料等	人 件 費	11,728	11,392	職員基本給、退職手当引当金繰入等
手数料	152	167	入学検定料等	教育研究経費	5,823	5,708	研究費、旅費等、減価償却額
寄付金	390	458	企業等からの研究助成金等	医療経費	10,971	10,881	診療材料費、診療諸費、減価償却額
補助金	3,250	3,095	国庫補助金・臨床研修費等補助金等	管理経費	2,618	2,428	消耗品費、業務委託費、営繕費等、減価償却額
資産運用収入	653	586	大学運営基金運用益・施設利用料等	借入金等利息	9	10	若松病院設置に係る借入金利息
医療収入	23,359	23,857	診療収入	資産処分差額	372	101	固定資産除却損等
事業収入	1,108	1,202	企業等からの受託研究、委託を受けた実習等に係る収入	徴収不能引当金繰入額等	8	19	徴収不能引当金繰入
雑収入等	157	195	科研費間接経費等、資産売却差額				
帰属収入合計	32,742	33,110					
基本金組入額	△698	△1,185					
消費収入の部合計	32,044	31,925		消費支出の部合計	31,531	30,542	
				当年度消費収入超過額	512	1,382	
				前年度繰越消費支出超過額	5,619	7,002	
				翌年度繰越消費支出超過額	5,106	5,619	

（注）百万円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

\*退職手当引当金……教職員の将来の退職時に支払うべき退職金を負債として考えるもので、学校法人で最も一般的な計算方法は「期末要支給額計上方式」（その決算期末に全教職員が退職するものと仮定して要支給額を計算するもの）です（平成26年度期末要支給額：7,151百万円）。退職金の財源として資金を積み立てているのが退職手当引当特定預金です。

\*\*減価償却額 ……固定資産（機器備品等）の価値は毎年同じ金額だけ減少していくと考え、その減少分を費用計上したものが減価償却額で、機器備品等の更新費用として資金を積み立てているのが減価償却引当特定資産です。（平成26年度末の減価償却累計額の合計額：35,771百万円）

2. 資金収支計算書

資金収支計算書

平成26年4月 1日から  
平成27年3月31日まで

(単位：百万円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成26年度	平成25年度	備 考	科 目	平成26年度	平成25年度	備 考
学生生徒納付金収入	3,670	3,548	入学金、授業料等	人件費支出	11,872	11,567	職員基本給、退職金等
手数料収入	152	167	入学検定料等	教育研究経費支出	5,601	4,931	研究費、旅費等
寄付金収入	370	416	企業等からの研究助成金等	医療経費支出	10,823	10,280	診療材料費、診療諸費
補助金収入	3,269	3,120	国庫補助金・臨床研修費等補助金	管理経費支出	2,500	2,717	消耗品費、業務委託費、営繕費等
資産運用収入	653	586	大学運営基金運用益、施設利用料等	借入金等利息支出	9	10	若松病院設置に係る借入金の利息支出
資産売却収入	214	402	有価証券償還収入	借入金等返済支出	150	300	若松病院設置に係る借入金の返済支出
医療収入	23,359	23,857	診療収入	資産運用支出	3,098	3,543	退職手当引当預金繰入等
事業収入	1,108	1,202	企業等からの受託研究、委託を受けた実習等に係る収入	その他の支出	3,861	3,902	前期末未払金支出等
雑収入	156	175	科研費間接経費等	資金支出調整勘定	△4,251	△3,745	期末未払金
前受金収入	79	78	入学金前受金	次年度繰越支払資金	8,904	8,338	
その他の収入	6,235	6,144	前期末未収入金収入、預り金等				
資金収入調整勘定	△5,038	△4,926	期末未収入金等				
前年度繰越支払資金	8,338	7,073					
合 計	42,568	41,848		合 計	42,568	41,848	

(注) 百万円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

学校法人会計の計算書について(解説)

学校法人会計基準では、「資金収支計算書」、「消費収支計算書」および「貸借対照表」の計算書類を作成することになっています。

- ・ 資金収支計算書…会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容と支払い資金の収入および支出のてん末を明らかにするもの（簡単に言えば家計簿のようなもので、収入（資金）が何にどのように使われたかということを明確にするために作成します。）
- ・ 消費収支計算書…会計年度の消費収入と消費支出の内容および均衡の状態を明らかにするもの（企業会計における損益計算書に該当するものといわれており、おおまかには消費収入の合計（帰属収入）から消費支出の合計（いわゆる経費）を差し引いた額が企業会計でいう当期利益にあたると思われます。）  
ほとんどが資金収支計算書と同じですが、減価償却額や退職手当引当金繰入額といった実際には資金が動かないものでも経費としてあげておかねばならないものが計上されています。
- ・ 貸借対照表………会計年度末における資産や負債、正味財産で構成され、法人の財政状態を表しています。表の左側の「資産」が表の右側の「負債」あるいは「基本金」などに対応しています。

また、学校法人会計に特有なものとして「基本金」があります。これは「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額（学校法人会計基準）」で、第1号基本金から第4号基本金まであります。

- ・ 第1号基本金…学校法人が取得した固定資産の額
- ・ 第2号基本金…将来取得する固定資産の取得にあてるため、金銭その他の資産を計画的に積み立てる額
- ・ 第3号基本金…基金として継続的に保持しながら、その運用によって得た資産を教育研究のために使用することを目的とする運用原資
- ・ 第4号基本金…恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣が定める額（消費支出の1ヶ月分）

本学では第1号基本金の他、第3号基本金と第4号基本金を組入れています。

(参考) 「学校法人の決算書の読み方」 赤塚和俊 2001年4月1日発行 株式会社ぎょうせい

3. 貸借対照表

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部				負債の部			
科目	平成26年度末	平成25年度末	増減	科目	平成26年度末	平成25年度末	増減
固定資産	76,795	75,778	1,016	固定負債	8,617	8,902	△285
有形固定資産	46,707	47,537	△830	長期借入金	750	900	△150
土地	4,951	4,951	0	退職手当引当金	7,151	7,285	△133
建築物	35,913	36,653	△740	未払金	715	717	△1
構築物	196	227	△30	流動負債	3,898	3,387	510
教育研究用機器備品	3,608	3,675	△67	短期借入金	150	150	0
その他の機器備品	66	69	△2	未払金	3,534	3,027	506
図書	1,961	1,954	6	国庫返納未払金	19	25	△6
車両	8	4	4	前受金	79	78	0
*建設仮勘定	1	1	0	預り金	92	90	1
その他の固定資産	30,088	28,240	1,847	仮受金	23	15	8
電話加入権	5	5	0	負債の部合計	12,516	12,290	225
ソフトウェア	63	70	△7	基本金の部			
施設利用権	0	0	0	科目	平成26年度末	平成25年度末	増減
☆有価証券	0	0	0	第1号基本金	80,434	79,825	609
☆出資金	14	14	0	第3号基本金	556	548	7
敷金	0	0	0	第4号基本金	2,261	2,180	81
**ソフトウェア仮勘定	17	0	17	基本金の部合計	83,252	82,554	698
☆収益事業元入金	44	44	0	消費収支差額の部			
退職手当引当特定預金	3,123	3,086	37	科目	平成26年度末	平成25年度末	増減
☆周年記念事業特定預金	45	56	△11	翌年度繰越消費支出超過額	5,106	5,619	512
減価償却引当特定資産	11,637	10,296	1,341	消費収支差額の部合計	△5,106	△5,619	512
住宅貸付資本特定資産	455	447	8				
住宅資金貸付金(特定資産)	1	1	0				
職員厚生運用基金特定資産	100	100	0				
☆大学運営基金引当特定資産	14,479	14,117	362				
☆新病院建設引当特定資産	100	0	100				
☆流動資産	13,867	13,447	419				
現金預金	8,904	8,338	565				
未収入金	4,850	4,761	88				
貯蔵品	0	0	0				
有価証券	0	213	△213				
薬品	102	122	△20				
診療材料	9	8	0				
仮払金	0	2	1				
資産の部合計	90,662	89,225	1,436	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	90,662	89,225	1,436

(注) 百万円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

\*建設仮勘定…建設途中にかかる建物、構築物等の有形固定資産に対する支出額を計上する勘定です。

平成25年度分は大学病院本館の病棟改修にかかる支出額を計上しましたが、平成26年度に改修が終了しましたので、本来の科目(建物)に振替えました。平成26年度分は武道館の屋根改修にかかる支出額を計上しています。

\*\*ソフトウェア仮勘定…開発途中にかかるソフトウェアの支出額を計上する勘定です。平成26年度分は人事・給与システム開発にかかる支出額を計上しています。



この貸借対照表は、大学の現在の財産を表しているよ。左側の「資産」は右側の科目のどこかに含まれているんだ。

～

現金預金に対応しています。

現金預金に対応しています。

☆に対応しています。

第1号基本金に対応しています。

退職手当引当金に対応しています。

第3号基本金として同額を計上しています。

#### 4. 収益事業会計・損益計算書

収益事業会計は本学の介護施設「虹の丘」の収支です。

今年度は利用者の減少により介護報酬の収入減となり、当期剰余金は△2,540千円でした。  
これに前期繰越剰余金23,804千円を加えた21,264千円が翌期に繰越となりました。

### 損 益 計 算 書

平成26年4月 1日から

平成27年3月31日まで

(単位：千円)

損 益 計 算 書			
I. 営業損益の部			
科 目	平成26年度末	平成25年度末	備 考
(営業収益)			
介 護 事 業 収 入	49,697	51,964	介護保険収入、介護料収入等
(営業費用)			
人 件 費	41,047	37,331	職員基本給、諸手当、法定福利費、賃金等
管 理 事 業 費 用	7,513	8,200	消耗品、光熱水費等
介 護 事 業 費 用	4,006	3,963	給食材料費、自動車リース料等
(計)	52,567	49,496	
営業利益	△2,870	2,468	
II. 営業外損益の部			
介 護 事 業 外 収 入	330	293	未払法人税等戻入
経常利益	△2,540	2,762	
税引前当期剰余金	△2,540	2,762	
法人税、事業税及び地方法人特別税	0	629	
当 期 剰 余 金	△2,540	2,132	
前 期 繰 越 剰 余 金	23,804	21,671	
繰 越 剰 余 金	21,264	23,804	

(注) 千円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

5. 収益事業会計・貸借対照表

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部				負債の部			
科 目	平成26年度末	平成25年度末	増減	科 目	平成26年度末	平成25年度末	増減
流動資産	35,442	36,221	△779	流動負債	3,118	3,377	△259
現金預金	27,338	28,866	△1,528	未払金	2,614	2,259	355
未収入金	8,104	7,352	752	預り金	503	489	14
立替金	0	3	△3	未払法人税等	0	629	△629
固定資産	38,676	39,193	△517	固定負債	4,953	3,450	1,503
有形固定資産	35,024	36,133	△1,109	長期未払金	1,302	390	912
土地	17,876	17,876	0	退職手当引当金	3,651	3,059	592
建物	12,895	14,090	△1,195	負債の部合計	8,072	6,828	1,244
構築物	1,725	2,182	△457	純資産の部			
備品	463	950	△487	科 目	平成26年度末	平成25年度末	増減
車両運搬具	2,064	1,033	1,031	収益事業元入金	44,781	44,781	0
その他の固定資産	3,651	3,059	592	剰余金	21,264	23,804	△2,540
退職手当引当特定預金	3,651	3,059	592	当期剰余金	△2,540	2,132	△4,672
				前期繰越剰余金	23,804	21,671	2,133
				純資産の部合計	66,046	68,586	△2,540
資産の部合計	74,118	75,415	△1,297	負債の部及び純資産の部合計	74,118	75,415	△1,297

# 財 産 目 録

平成27年3月31日現在

科 目	摘 要	金 額
<b>一 資産額</b>		
<b>(一) 基本財産</b>		
1 土地(校地)		4,902,165,016
	北九州市八幡西区医生ヶ丘他 333.269㎡	(4,050,840,002)
	北九州市八幡西区大字浅川 1,199㎡	(8,783,025)
	北九州市八幡西区光貞台 6,036.07㎡	(114,534,946)
	北九州市八幡西区星和町 1,133.84㎡	(24,442,421)
	北九州市八幡西区大浦 5,529.12㎡	(105,564,622)
	北九州市若松区浜町 12,357.12㎡	(598,000,000)
2 建物		35,913,195,968
	校舎等教育施設 77,203.67㎡	(15,887,342,372)
	大学病院施設 55,304.8㎡	(13,913,643,829)
	若松病院施設 12,828.01㎡	(2,089,784,791)
	その他施設 37,069.08㎡	(4,022,424,976)
3 構築物		196,871,866
	運動場施設	(40,165,486)
	緑化施設	(32,895,297)
	その他施設	(123,811,083)
4 図書	教育研究用図書 179,842冊	1,961,083,586
5 教育研究用機器備品		3,608,187,935
	病院総合医療情報システムサーバー一式(リース)	(490,581,000)
	バイブレーション心血管造影検査治療システム	(221,856,600)
	全身用CTスキャナー一式	(182,175,000)
	人工心臓装置	(30,201,497)
	他20,624点	(2,683,373,838)
6 その他機器備品	事務系ネットワーク機器一式 他949点	66,555,868
7 ソフトウェア	病棟薬剤管理加算支援システム他9点	63,220,341
8 車両	乗用車4台、乗合自動車1台、救急車2台	8,955,488
9 建設仮勘定	武道館関係	729,000
10 ソフトウェア仮勘定	人事・給与システム関係	17,502,480
<b>(二) 運用財産</b>		
1 現金預金		8,904,178,475
2 有価証券		600,000
3 退職手当引当特定預金		3,123,601,074
4 周年記念事業特定預金		45,192,622
5 新病院建設引当特定資産		100,000,000
6 職員厚生運用基金特定資産		100,000,000
7 住宅貸付資金特定資産		455,568,578
8 減価償却引当特定資産		11,637,426,826
9 大学運営基金引当特定資産		14,479,154,362
10 土地	北九州市八幡西区藤原 2,783.28㎡	49,280,197
11 電話加入権	67回線	5,084,012
12 出資金		14,250,000
	有限会社 産業医大サービスに対する出資金	(3,350,000)
	株式会社 産業医大ソリューションズに対する出資金	(4,950,000)
	産業医大微生物解析研究開発有限責任事業組合に対する出資金	(2,970,000)
	産業医科大学ヘルスマネジメントシステム有限責任事業組合に対する出資金	(2,980,000)
13 住宅資金貸付金		1,112,500
14 敷金		539,500
15 未収入金		4,850,458,593
医業未収金		(4,104,033,553)
請求留保金		(557,365,965)
受託研究事業費	エコチル調査(環境省)、産業技術研究開発(経済産業省) 他	(59,240,432)
その他		(129,818,643)
16 棚卸資産	薬品 102,776,085円 診療材料 9,126,981円 貯蔵品 201,000円	112,104,066
17 仮払金	受託研究費未入金分仮払他	266,276

<b>(三)収益事業用財産</b>		
1 土地	収益事業用地 942.09㎡	17,876,240
2 建物	収益事業施設 247.29㎡	12,895,074
3 構築物	収益事業施設	1,725,636
4 備品	収益事業用機器備品	463,145
5 車両運搬具	収益事業用車両	2,064,601
6 現金預金		27,338,095
7 退職手当引当特定預金		3,651,900
8 未収入金等	未収入金 8,104,286円	8,104,286
資産額合計		90,691,403,606
<b>二 負債額</b>		
1 固定負債		
(1) 長期借入金	若松病院設置に係る外部調達資金	750,000,000
(2) 退職手当引当金	役員・教職員退職手当引当金	7,155,360,100
(3) 未払金	リース資産にかかるリース料残額	716,992,389
2 流動負債		
(1) 短期借入金	長期借入金のうち返済期限が1年以内の借入金	150,000,000
(2) 未払金	退職金、物品購入等代金他	3,537,382,931
物品購入等代金		(1,908,488,464)
未経過リース料		(508,890,468)
退職金支払金		(695,456,875)
その他		(424,547,124)
(3) 国庫返納未払金	一般会計から生じた返納金	19,067,555
(4) 前受金	入学金、授業料、施設設備費、実験実習費他	79,018,117
(5) 預り金	所得税等職員預り金、電話料等公共料金他	92,524,933
(6) 仮受金	診療費仮受他	23,820,830
(7) 未払法人税等(収益事業)		0
負債額合計		12,524,166,855
<b>三 正味財産</b>		78,167,236,751

平成26年度 決算書からの主要財務比率表

	比率	算式 (×100)	解説 (評価)	私医大平均	本学		
				25年度	26年度	25年度	24年度
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	人件費の帰属収入に対する割合を示す重要な比率である。低いほうがよい。(▼)	42.0%	35.81%	34.41%	33.31%
2	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	教育研究経費(医療経費を含む)の帰属収入に対する割合を示し、教育、医療の諸活動の維持、発展のため高いほうが望ましい。ただし、著しく高い場合は消費収支バランスを崩す要因となる。(△)	47.9%	51.29%	50.10%	50.33%
3	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	法人維持、運営のため経費支出は必要不可欠であるが、低いほうが望ましい。(▼)	3.4%	7.99%	7.33%	7.60%
4	学生生徒納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰属収入}}$	本学の帰属収入の主な収入は医療収入、学生生徒納付金、補助金収入等であるが、この比率は安定的に推移することが望ましい。(▼)	6.3%	11.20%	10.72%	10.83%
5	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	補助金は本学の収入の主要な財源であり比率は高い方が望ましが、外部の影響を受けやすく経営に弾力性を失う恐れがある。(△)	5.5%	9.92%	9.35%	9.69%
6	消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	経常費用が帰属収入でまかなわれているかどうかを示す重要な指標で、長期的にこの比率が上昇してきているのであれば、財政がひっ迫しつつあることを示す危険な兆候となる。(▼)	94.0%	96.30%	92.24%	91.97%
7	医療経費比率 (償却額除く)	$\frac{\text{医療経費}}{\text{医療収入}}$	医療経費の帰属収入に対する割合。高度な医療を提供することで、どうしても医療経費が高くなるが、効率を考えると当然に低い方がよい。(▼)	36.2%	42.02%	45.61%	40.08%
8	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	当該年度の帰属収入から基本金に組入れた比率を表す。高額な設備投資は基本金組入れ額が高くなり、消費収支差額が支出超過になることがあり注意が必要となる。(△)	4.5%	2.13%	3.58%	4.30%
9	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	固定資産が外部負債に頼らず取得されているかを示す割合で、土地、建物等の固定資産にどの程度自己資金が投入されているかを示している。(▼)	102.5%	98.27%	98.50%	100.39%
10	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	流動負債に対する流動資産の割合で、一年以内に償還又は支払わなければならない流動負債に対し、流動資産(現金預金)がどれだけ準備されているかを示している。一般的に200%を超えると優良とみなされる。(△)	239.3%	355.68%	396.97%	372.79%
11	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	総負債(固定+流動)の総資産に対する割合で、この比率は低いほどよく100%を超えると負債総額が資産総額を上回る状態となり、債務超過となる。(▼)	27.3%	13.80%	13.77%	14.67%
12	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	他人資金と自己資金との割合で、他人資金が自己資金を上回っていないかどうかを示す指標で100%以下が望ましい。(▼)	36.7%	16.01%	15.98%	17.19%
13	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資産}}$	自己資産が総資産に比べどのくらいあるかを表す比率で、この比率が高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資本を上回っていることを示す。(△)	—	86.19%	86.23%	85.33%
14	基本金比率	$\frac{\text{基本金(1号基本金)}}{\text{基本金要組入}}$	基本金要組入額の割合を示し、未組入額は借入金、未払金をもって資産を取得していることを表し100%に近い方が望ましい。(△)	89.7%	94.82%	97.40%	96.95%

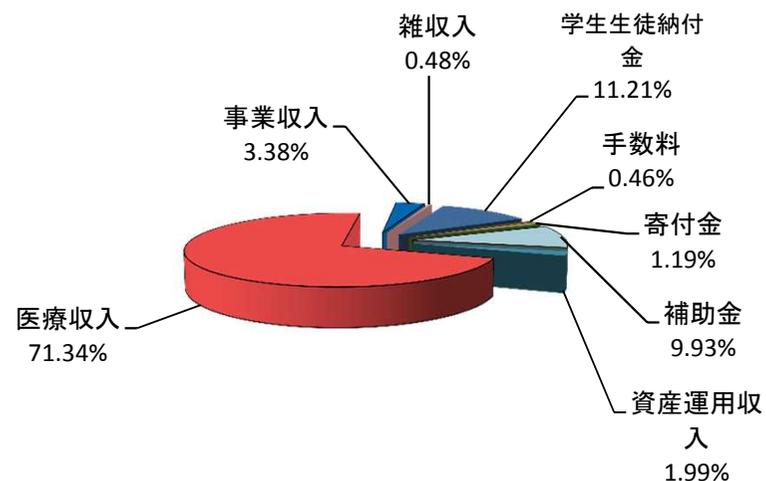
※自己資金：基本金+消費収支差額

資金収支計算書

単位(百万円)

収 入			支 出		
科目	決算	対予算	科目	決算	対予算
学生生徒納付金	3,670	△ 7	人件費支出	11,872	0
手数料収入	152	8	教育研究経費支出	5,601	410
寄付金収入	370	24	医療支出	10,823	2
補助金収入	3,269	△ 6	管理経費支出	2,500	205
資産運用収入	653	△ 41	借入金等利息支出	9	1
資産売却収入	214	△ 214	借入金等返済支出	150	0
医療収入	23,359	85	資産運用支出	3,098	△ 85
事業収入	1,108	10	その他の支出	3,861	37
雑収入	156	77	資金支出調整勘定	△ 4,251	81
前受金収入	79	△ 17			
その他の収入	6,235	150			
資金収入調整勘定	△ 5,038	184			
前年度繰越支払資金	8,338		次年度繰越支払資金	8,904	△ 2,896
収入の部合計	42,568	△ 2,242	支出の部合計	42,568	△ 2,242

平成26年度 決算構成比率 消費収入



消費収支計算書

収 入			支 出		
科目	決算	対予算	科目	決算	対予算
学生生徒納付金	3,670	△ 7	人件費	11,728	406
手数料	152	8	教育研究経費	5,823	524
寄付金	390	4	医療経費	10,971	395
補助金	3,250	12	管理経費	2,618	247
資産運用収入	653	△ 41	借入金等利息	9	1
医療収入	23,359	85	資産処分差額	372	△ 206
事業収入	1,108	10	徴収不能引当金繰入額等	8	2
雑収入等	157	76			
帰属収入合計	32,742	148	消費支出の部合計	31,531	1,369
基本金組入額合計	△ 698		当年度消費収入超過額	512	
消費収入の部合計	32,044		前年度繰越消費支出超過額	5,619	
			翌年度繰越消費支出超過額	5,106	

消費支出

